

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	観音通線整備事業					事務事業コード	02801
部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課	係名	区画整理係	部課コード	050100

1. 事業概要

総合計画コード	5221	5231			
事業年度	H 26 年度 ~ H 32 年度		事業類型	<input type="radio"/> ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)>	
めざす目的成果	観音通線は、一般国道254号から朝霞駅南口に繋がる路線であり、市民が安全に通行し、相互の交通が円滑になっている。また、主要な交通の動線を結ぶことから、朝霞市の交通等の利便性を増進し市民生活に活力をもたらしている。				
事業内容	都市計画道路駅前通線から約666mの区間についてはほぼ整備済みで、整備完了を目指し残りの朝霞第四中学校から国道254号の約234mについて地権者と用地交渉を実施する。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 用地取得交渉は直営で行い、測量や建物補償調査は業務委託として発注し、道路工事は建設事業者へ工事発注する。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		街路用地購入、建物移転補償、道路築造工事、諸委託				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		187	16,151	267,900	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
		[ホ]一般財源	187	16,151	267,900	
b 人件費		1,466	6,595	9,160		
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		1,653	22,746	277,060		
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.20 人	0.90 人	1.25 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		時間	時間	時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	・不動産鑑定手数料 2,001千円 ・除草委託 24千円 ・建物補償調査積算委託 7,765千円 ・測量委託 771千円 ・交通量調査委託 475千円 ・観音通線街路築造工事 7,992千円 ・木柵設置工事 220千円 ・街路用地購入費 105,278千円 ・建物移転補償料 143,374千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	① 整備延長	m	0 ( 0 )	207 ( — )	207 ( — )	延234(H32終) H 32 年度
	② 不動産鑑定の件数	件	7 ( 7 )	0 ( — )	0 ( — )	7(H32終) H 年度
成	① 整備進捗率	%	0 ( 0 )	0 ( — )	0 ( — )	100(H32終) H 年度
	②					H 年度

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> ・朝霞駅と国道254号が直結することから利便性の向上が図られる。また、市道2号線(城山通り)や市道8号線(公園通り)の交通渋滞が緩和されることで経済効果も期待できた。 ・市道7号線(観音通線)の交通量増加が見込まれることから、より一層の交通安全対策が必要となる。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> ・地権者との協議や不動産鑑定を計画的に進め、用地購入が促進された。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入>			
	思いやり: 両側歩道が整備されることで高齢者や障害者、また子育て世帯の方々や子どもたちの通学路の安全確保ができた。 参加と協働: 工事工程について、住民説明会を開催し、資料を配布し、丁寧に説明を行った。 経営的な視点: 都市計画道路の整備により、市民の交通の利便性が向上された。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input checked="" type="radio"/> I 見直す余地がない	<input type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> ・観音通線は歩行者・自転車にとって安全で安心して通行できる道路環境を実現するとともに、東京オリンピック・パラリンピックの競技会場へのアクセスルートとしても活用できる道路となるよう2020年開通を目指して事業進捗を図る。		

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年度)		
	方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	・用地取得のほか、第四中学校入口交差点から県道新座・和光線までの区間について道路築造工事や電柱移設工事を実施する。		